新型コロナウイルス感染症に対応した学校再開ガイドライン（石川県立盲学校版）

１　健康観察

１．登校前に自宅で検温と風邪症状の確認をする。

　　※発熱等の風邪症状がある場合は、登校せず自宅休養する。

　　　発熱がなくても、普段より体調が悪いと感じたら、登校を控える。

２．登校時に玄関でアルコール消毒をして、健康チェック表を提出する。

　　※健康チェック表を忘れた場合は、玄関で検温する。

２　感染予防対策

１. 次の６つのタイミングで手洗いやアルコール消毒をする。

・教室に入る時　　・咳やくしゃみ、鼻をかんだ時　・食事の前後

・掃除の後　　　　・トイレの後　　　　　　　　　・共有のものを触った時

1. 身体的距離を確保する…できるだけ２ｍ（最低１ｍ）

３．マスクを着用する（体育や熱中症の危険性がある場合は距離を確保し外してよい）。

４. 教室等は廊下側の窓を常時開ける。

５. 休み時間ごとに外側の窓を開けて換気する。

６．正面玄関の冷水器、水分補給器、タオル等は共有しない。

７．着替えの際は、男子は教室、女子は更衣室を少人数（最大２人ずつ）で使用する。

８. 各教室のドアや窓の取っ手、電気スイッチ、階段手すり等児童生徒が触れる部分は

教職員が１日１回以上、利用状況に応じて消毒する。

９．共有する物品を使用する際は、教職員が物品の消毒をする。

10．清潔なハンカチ、ティッシュ、マスク、マスクを保管する袋、水筒を持参する。

３　給食

１．食事の前に手洗いとアルコール消毒をする。

２．座席は向かい合わせにせず、隣と一つ席を空けて座る。会話は控える。

３．配膳とテーブル拭きは当面の間、炊事職員が行う。

４　感染リスクの高い学習活動について

「用具の消毒」「手洗い指導の徹底」「体調に不安のある児童生徒の不参加を認める」

この３点に留意して、以下の活動を行う。

・グループワークやペアワーク　　　　　　・共同制作、観賞、調理実習

・合唱、管楽器演奏　　　　　　　　　　　・接触を伴う運動

・実験、観察　　　　　　　　　　　　　　※部活動は当面中止とする。

５　スクールバス

1. 自宅で検温と風邪症状の確認をする。
2. 風邪症状がある場合は乗車できません。（自宅休養）

３．マスクを着用し、乗車前にアルコール消毒と健康チェック表を提示する。

４．一ブロックに一人とし、隣との間隔をあけて座る。会話は控える。

５．運行中、適宜換気を行う。

６　保護者との連携

１．家庭における感染予防の徹底し、手洗いやアルコール消毒を実施する。

２．家庭との連携による体調管理を行う。無理に登校させない。

３．心配や不安がある場合は、学校や各自治体の相談窓口に相談するよう伝える。

７偏見、差別に関すること

１．感染者、濃厚接触者、新型コロナウイルス感染症の治療にあたる医療従事者や社会機能の維持にあたる方とその家族等に対する偏見や差別につながるような行為は許されないという指導を徹底する。

～参考　厚生労働省　「新しい生活様式」の実践例～

